

2013年度
関西学院大学ロースクール
A日程

一般入試（法学既修者）

民事訴訟法 問題

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【民事訴訟法 問題】

次の文章を読んで、以下の問1および問2に答えなさい。

1. Xは、Y1の養子で、Y1の唯一の推定相続人であり、Y2は、Y1の甥である。
2. Y1は、平成20年12月18日、公証人作成の公正証書によって遺言（以下「本件遺言」という）をした。
3. 本件遺言の内容は、Y1の所有する土地建物の持分100分の55をY2に遺贈するというものである。
4. 家庭裁判所は、平成23年3月15日、Y1が、アルツハイマー型老人性認知症である旨の鑑定の結果に基づき、心神喪失の常況にあるとして、Y1に対し後見開始の審判をした。Y1の症状は回復の見込みがない。
5. Xは、平成23年10月28日、Y1・Y2（以下「Y」という）に対し、本件遺言につき、Y1の意思能力を欠いた状態で作成されたと主張して、本件遺言が無効であることを確認する旨の判決を求める訴えを提起した（以下「本件訴え」という）。
6. これに対し、Yは、本件訴えは、訴えの利益を欠き不適法であると主張した。

問1 Yが、本件訴えの利益を否定する論拠を説明しなさい。

問2 問1で論じたYの主張に対し、Xの立場から、反論（本件訴えの利益を肯定する論拠を説明）しなさい。